

政策	明日につながる産業の振興	施策	都市型農業の推進	基本事業	農畜産物の付加価値化		
部名	経済部	事業開始年度	平成16年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	農業振興課	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内農業者・市内肉用牛飼養農業者
意図	<p>春まき小麦「ハルユタカ」安定供給のため、種子減収補てんや試験研究を行う基金に負担金を支出する。 黒毛和種「えぞ但馬牛」の市場評価向上を目的とし、人工授精に用いる優良種雄牛精液購入に対して補助する。</p> <p>手段</p> <p>ハルユタカの種子を安全供給し、生産量の安定化を図る。 えぞ但馬牛の優良種雄牛精液を確保し、市場評価を向上する。</p>

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	農家戸数		戸	507	502	507	502	
対象指標2	市内肉用牛飼養農家戸数		戸	23	22	23	22	
活動指標1	負担金・補助金額		千円	1,530	694	750	750	
活動指標2								
成果指標1	ハルユタカの生産量(製品収量)		t	2,169	160	2,100	2,100	
成果指標2	肥育牛(肉用)の枝肉単価		円	2,056	1,814	2,060	1,800	
単位コスト指標								
事業費計(A)			千円	1,530	694	750	750	0
正職員人件費(B)			千円	5,015	4,979	4,164	4,073	0
総事業費(A)+ (B)			千円	6,545	5,673	4,914	4,823	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)
 えぞ但馬牛の支援について、繁殖牛導入助成には一定の成果が表れたので、今後はブランド化を図る上でも地域に良い血統を残していくことが重要となるため、新たに改良技術助成事業を開始し支援を継続する。

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			